



## 令和4年度全国学力・学習状況調査結果概要

今年度の全国学力・学習状況調査は5月に実施され、「国語」「算数」「理科」「質問紙」の調査が行われました。（理科は4年ぶり）本校では、国語と算数においては全国と県の平均を上回りました。理科では全国平均を若干下回りましたが、県の平均を上回りました。

国語	比較対象	全体	話すこと聞くこと	書くこと	読むこと	言語の特質や使い方	我が国の言語文化
	全国	○	△	○	○	○	△
県	○	△	○	○	○	△	
算数	比較対象	全体	数と計算	図形	変化と関係	データの活用	
	全国	○	○	○	△	◎	
	県	○	○	○	○	◎	
理科	比較対象	全体	エネルギー	粒子	生命	地球	
	全国	△	△	△	○	△	
	県	○	○	○	○	△	

◎大変高い  
○高い  
△低い  
▲大変低い

### 【国語の概要】

「話すこと・聞くこと」「我が国の言語文化」に関する問題で、少し課題が見られました。日常的に使う漢字の書き取りや、狭い範囲だけを読めば答えられるような問題はよくできていました。しかし、正答率の低かった問題を見ていくと、長文の要点をつかむことや、日常的に使わない言葉の意味理解を苦手としているということが分かりました。

#### ＜今後の取組＞

結果を受けて、語彙不足の解消と、話の要点をつかむための手立てが必要だと感じました。どちらにも共通して効果的だと考えられる読書については、今後も継続的に推奨していきます。また、新出漢字の練習時に、いくつかの熟語で書けるように練習したり、熟語の意味を確認したりするなど、言葉に着目した授業を考えていきたいと思えます。そして、初見の文章で要点をまとめる練習をするなど、話の中心を捉える活動を取り入れていきます。

### 【算数の概要】

のきなみ全国平均を上回り、中でも「データの活用」の領域はととてもよくできていました。「変化と関係」の領域では、県平均を少しだけ下回りました。条件に合わせて答える問題や指定された考え方を使って解く問題などで課題が見られました。

#### ＜今後の取組＞

提示された考え方で解く問題ができていなかったのも、授業の中で、自分の考えだけでなく、友達のを考え方を読み取り、その考え方を使って問題を解くことも大切にしたいと思います。1つの方法だけでなく、多様な方法で答えを導き出せる柔軟性を高め、式や答えにたどりつくまでのアプローチについて、みんなで考えていけるような授業を実践して行きます。

## 【理科の概要】

自然環境に恵まれている沢地の子供たちは、「生命」の分野を得意としていることが分かりました。その他の分野において、県平均は概ね上回っていますが、全国平均よりは下回っています。複数の資料の事象や結果を結び付けたり、順序立てて考えたりしていくことに課題が見られました。

## ＜理科の取組＞

理科の授業の中で、予想や考察の時間を十分にとることで、論理的思考力を高めていきたいと思えます。また、小グループで話し合う場面を設定し、自分の考えを説明したり、友達と討論したりすることで、考えを深めていけるようにします。

## 【質問紙から見た本校児童の特徴】（一部のみを抜粋、全国平均との比較です）

- ◎「学校に行くのは楽しい」と思う児童が多い。
- ◎「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と思う児童が多い。
- ◎「地域の行事に参加する」児童が多い。
- ◎「授業でICT機器の使用頻度が高い」と感じる児童が多い。
- 「将来の夢や目標をもっている」児童が多い。
- 「友達と協力するのは楽しい」と思う児童が多い。
- △スマートフォン等の使い方について、家の人と約束したことを守っていない。
- ▲学校が休みの日に、勉強している時間が少ない。
- ▲新聞を読む児童が少ない。

質問紙からは、昨年度と同様に「地域の中で自己肯定感をもちながら、やさしく育つ子供の姿」を感じとることができました。また、「自他の違いを認め合いながら、人との関わりを大切に作る心」や「物事を素直に、肯定的に捉える前向きな姿勢」が感じられました。

「国語」「算数」「質問紙」における以上の結果は、全体的な傾向に過ぎません。この結果を踏まえ、一人一人に目を向けつつ、良い点を更に伸ばし、課題は改善していけるよう指導して参ります。6年生には、学期末に一人一人と面談しながら個人票を配布いたします。ご家庭におかれましては、お子様の学習や生活の様子を振り返る機会にしていただきたいと思います。

